

授業改善書

科目名	原価計算論Ⅰ
担当者	江頭 幸代

授業の概要

製品を「1個作るのにいくらかかるのか」を求める原価計算論の授業です。製品を1個作るのには、それを作るために材料費、労務費、経費がかかります。前期の原価計算論Ⅰの授業では、費目別計算として材料費、労務費、経費の計算を行いました。その後、場所別にいくらかかったかを把握する必要から、部門別計算（直接配賦法、相互配賦法、階梯式配賦法）を学習しました。前期の後半では、受注製品（たとえば船舶など）に関する原価計算である個別原価計算について学習し、後期の原価計算論Ⅱにつなげていきます。

授業の問題点

ほとんどの学生が熱心に取り組んでくれましたが、欠席の多い学生は欠席すると、なかなか次のステップに進むことができず、個別に対応しなくてはなりません。また、教科書の入手の遅い学生も前半分部分では、授業についていけない様子もみられました。

学生の授業満足度

授業アンケートの結果は、よかったので、学生も満足してくれたものと理解しております。

授業改善の課題と方策

オンライン授業と対面授業の隔週授業は、あまり効果がないように感じています。

その他

授業改善書

--